

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|-----------------|-------|-------|----|-----|-----|
| 2 | プログレッシブ 特進一貫 | 技術・家庭 | 技術・家庭 | 全 | 必修 | 2 |

講座のねらい

<技術分野>

ものづくりなど実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する態度と能力を身につけてもらいます。

<家庭分野>

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てます。

使用教材及び問題集

| | | | |
|-----|------------|---------------------|--------|
| 教科書 | ： 新しい技術・家庭 | 「技術分野 未来をつくるテクノロジー」 | (東京書籍) |
| | ： 新しい技術・家庭 | 「家庭分野 自立と共生を目指して」 | (東京書籍) |
| 副教材 | ： 技術・家庭ノート | 「技術分野」 | (新学社) |
| | ： 技術・家庭ノート | 「家庭分野」 | (新学社) |

授業の内容と進め方

授業は講義と実習を組み合わせで進めます。教科書に従って授業を進めますが、それらを発展的に進めるために学習ノート・プリントを活用します。

講義はHR教室で、技術実習は技術室、家庭実習は家庭科室にて行います。

講座の到達目標

<技術分野>

1. エネルギー変換や情報、材料と加工に関する技術を身につけます。

<家庭分野>

1. 食品についての知識を増やし、情報を自分で判断する大切さを身につけます。
2. 衣服製作により、基礎技術を身につけ、くふうし創造する喜びを体験します。
3. 自分の幼児期をふり返り、周囲の人との関わりに気付く。また、体の発達の特徴について理解する。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査と製作品で総合的に評価します。
また、授業態度・出席状況・ノートやプリント提出、作品製作や調理実習への意欲や積極性という点も評価します。

備考

○用具の準備

- 調理実習・・・エプロン、三角巾、マスク
- 作品製作・・・裁縫セット

授業の計画

| |
|---|
| 1 学期 学習計画および学習内容 |
| 3 編 エネルギー変換 1. エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み 2. エネルギー変換機器の基本的な仕組み 3. エネルギー変換に関する製作品の設計 4. エネルギー変換に関する製作品の部品加工と組立て及び仕上げ 5. エネルギー変換機器の保守点検と事故防止 6. エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用 |
| 4 編 情報 1. コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組み 2. 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組み |
| 2 学期 学習計画および学習内容 |
| 2 編 衣生活と自立 3 章 生活を豊かにするために ・製作の基礎技能（ミシンの使い方） |
| 3 編 わたしたちの成長と家族・地域 3 章 私たちの成長と家族・地域 1. 幼い頃を振り返る 2. 幼児の体の発達 3. 幼児の心の発達 4. 幼児の生活習慣 |
| [作品製作] |
| 3 学期 学習計画および学習内容 |
| 4 編 情報 1. 情報通信ネットワークと情報モラル 2. 著作権や発信した情報に対する責任 3. 情報に関する技術の適切な評価・活用 4. コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組み 5. 簡単なプログラミング |